地域包括・在宅介護支援センター

健康教室のご報告

認知症サポーター養成講座
～「お互い様」支え合う地域を目指して～

2月の健康教室は 平成28年２月６日御所市中央公民館で認知症サポーター養成講座を開催しました。

先ず御所市長より「御所市は３人に１人が高齢者です。 認知症になってもいつまでも、御所で安心して暮らすことができるように、今日は楽しく学んで下さい。」という挨拶から講座は始まりました。

続いて、御所市地域包括支援センターと鴻池会地域ケアセンターによる寸劇が行なわれ、そこでは自分の家や家族のことも分からなくなったおばあちゃんが、家の外に出かけて帰れなくなり、地域の人が家まで送り届けてくれるという内容を、分かりやすく、楽しく演じて頂きました。初めは緊張した面持ちのみなさんでしたが、地域包括のみなさんの名（迷）演技と参加者を巻き込んだアドリブに、思わず笑いがこぼれていました。

大杉センター長からの講義では、寸劇のシーンを振り返りながら、認知症の方の気持ちを理解した対応と地域で見守ることの大切さを伝えて頂きました。そして「“認知症サポーター”とは言っても、認知症の方とそのご家族を見守る応援者であり、講義を受けたから特別何かをしないといけないという訳ではありません。大切なことは本人、家族の気持ちに寄り添うことです。」と伝えられ、改めて「認知症を正しく理解すること」の重要性を知ることができました。

最後に、公益社団法人認知症の人と家族の会のパンフレットから『介護者である家族の気持ち』が紹介されると、ハンカチで目頭を押さえられる方もおられ、認知症の方のご家族にも、地域や社会の理解と支援が必要だと伝えることができました。

これからも、このような取り組みを通し、地域に支援の輪を広げることができる健康教室が開催できればと思います。

（鴻池会居宅介護支援事業所　大西南津子）